

アベリーノ・テイシエイラ・ダ・ モタ氏の逝去を悼む

相原 良 一

来春、リスボンで大航海時代をテーマとする The Council of Europe 主催の第十七回展覧会及びポルトガル海外科学院 (Junta de Investigações Científicas do Ultramar) 創立百年記念の催しが行われることになり、テイシエイラ・ダ・モタ氏はその準備委員の一人として来日されることになってしたが、出発を目前にして去る三月十五日病気のため急逝された。今回の展覧会は芸術、科学、一般文化など五部門に分けられ、それをリスボンとコインブラの二つの地区に分けて準備が進められているが、リスボンの海洋博物館 (Museu de Marinha) の館長であり、且つポルトガル海外科学院所属の Academia de Marinha の責任者であるテイシエイラ・ダ・モタ氏は、リスボン地区のディレクターとして主として大航海時代におけるポルトガルの海外発展に関する部門の準備を担当しておられた。その主な仕事の一つは古地図の展示であるが、氏の管理する海洋博物館には古地図のコーナーが、十六世紀後半にポルトガルの製図家によって作ら

れ、欧州各地に現存する古い海図の精巧な模写が常時展示されており、一昨年この博物館を訪れた際にもこのコーナーで館長と共にそれらの貴重な海図を見ることが出来たが、その中の何枚かには如何にも珍しい形をした古い日本図が描かれていて日葡間の深い歴史的關係の一端が偲ばれて極めて興味深かった。テイシエイラ・ダ・モタ氏は国際的古地図の専門誌イマゴ・ムンディ誌の編集委員 (corresponding editor) であった関係から、同じく日本側の委員をしておられた故中村拓博士をはじめとして内外の古地図学者から同誌へ寄せられた論文を通して日本、中国等の古地図に興味を持っておられたが、特に南蛮屏風世界図、朱印船航海図に描かれた日本附近の図についての私の説明には熱心に耳を傾けておられた。恐らく今回氏が来日されることになったのも、その主な目的は、展覧会開催の準備を契機としてわが国に現存するこれらのポルトガルと関係の深い地図資料を実物について調べることにあつたものと思われる。

一九〇九年にテレキーの地図帳 (Atlas zur Geschichte der Kartographie der japanischen Inseln, Leipzig) が刊行されて以来、わが国では欧州人の描いた日本図の歴史的要遷に対する関心が高まり、欧州で描かれた日本図とわが国に現存する各種の地図資料とを比較検討することによって、その系譜を明らかにする努力が続けられてきた。このような日

本図への歴史的関心の高まりの中で、江戸時代にわが国と関係の深かったオランダでは、ライデン大学のヴィーダー博士により文字通り画期的な地図集 *Monumenta Cartographica* (1925-33) が刊行されて、ベトルス・ブランシウスの両球世界図に描かれた日本の図型が注目されたが、イタリア、スペイン、フランスなどと並んで、大航海時代の世界図制作に先鞭をつけ、メルカトル、オルテリウス、ブランシウス等フランドル及びオランダの地図制作に大きな影響を及ぼしたポルトガルにおいても、一九六〇年、エンリケ航海王子の逝去五百年を記念する事業の一つとして、コルテザン・テイシェイラ・ダ・モタ両氏共編の地図集 *Portugaliae Monumenta Cartographica* 五卷 (1960-62) が刊行された。この地図集の二人の解説者のうち、アルマンド・コルテザン氏はわが国においてもポルトガル地図史 (*Cartografia e Cartografos Portugueses dos séculos XV e XVI*) 二巻の著者として知られ、特に十六世紀初頭に中国を訪れ、ポルトガル船渡来以前のわが国に関する情報をマラッカへ伝えたことで知られるトメー・ピレスの訪支記録 (*The Suma Oriental of Tomé Pires*) は、ハックルwert協会刊行本第二輯八九、九〇両巻に収められていて東洋史関係の重要資料になっているのでわが国でも比較的よく知られているが、共同執筆者たるテイシェイラ・ダ・モタ氏の方は馴染が薄く、コルテザン氏

の陰にかくれて余り知られていないように思われる。しかし、前記ポルトガル地図集の解説を仔細に調べてみると、氏は意外に日本図と密接な係わりがあり、見方によっては氏の解説はコルテザン氏以上に我々にとって重要な意味を持っていることが明らかになった。今回氏が展覧会の準備を機会に自らわが国を訪れることになったのも、この辺に理由があったのではなからうか。即ちこのポルトガル地図集を見ると各項目毎に執筆者の頭字をとって、コルテザン氏はA C、テイシェイラ・ダ・モタ氏はT Mと記して担当者を明らかにしており、全体を通じてその数は相半ばしているが、コルテザン氏担当の分は、オーメン、ヴェリウ、ワス・ド・ドラード等一五八〇年以前の地図制作者で既に論議を尽されていて定評のある著名な人々の手になるものが多く、テイシェイラ・ダ・モタ氏担当の分はそれ以後のもので、未だ検討を必要とする事例が多く含まれている。例えば第五巻には日本図の変遷が一目でわかるように代表的な略図五〇を一まとめにして各型毎に時代順に載せてあり、コルテザン氏が全部を一括して解説しているが、その中に今日の水準では少し行過ぎではないかと思われる部分がある。即ち第三七図に INACIO MOREIRA, c. 1581 として JAPAN と、いう国名が逆になっている略図が載っているが、コルテザン氏はこのようなモレイラの日本図を実際に見たのであろうか。イナッショ・モレイラに就いては

日本研究で知られた故ヨセフ・シュッテ師がその経歴を調べ、イマゴ・ムンディ誌にモレイラが日本で行った地図制作活動について精細な研究を発表しているが、それによるとモレイラが日本図を作ったという記録は残っているが、地図そのものは発見されていないとのことである。従って第三七図をモレイラの作とし、一五八一年頃に作られたとするのは明かに行過ぎである。モレイラが在日したのは一五九〇年から九二年までの二年間だからである。尤もこの地図集は第四巻までに初めに予定された解説をおわり、第五巻はあとからそれに追加されたもので、日本図五〇図に関する総括的な解説は北米東北端のテラ・ノバの解説と共に付録として扱われており、解説者たるコルテザン氏も一応の結論は述べているものの、今後更に検討を加える必要のあることを認めているのであって共同編集者たるテイシェイラ・ダ・モタ氏にしても第三七図については疑問を抱いておられたのではなからうか。モレイラの日本図の次に掲げられている第三八図ルイス・テイシェイラの日本図はわが国でも複製版が出廻っていて我々の目に触れる機会が多いが、その割に作者についてはよく知られていない憾がある。テイシェイラ・ダ・モタ氏は地図集第三巻でこのポルトガルで著名な製図家の経歴及び業績を精細に説明しているが、特に一五九二年作の日本図がオルテリウスの手に渡り、三年後にその地図帳に載るまでの経緯は我々にとっ

批評と紹介 相原

て極めて興味深い。本図にはモレイラの影響が見られるといわれたことがあるが、テイシェイラ・ダ・モタ氏はその問題については言明を避け、単に本図はドラード型の日本図を完全に描き改めた極めて現実に近いもので、十六世紀と十七世紀を結びリンクをなすものであるというにとどめ、緯度を測定して描いたものではなく、三十年前のヴェリウの日本図等よりは正しいが、三十年後の *Dutchess de Berry* の地図帳には遙かに及ばないとしているのは注目に値する。第四一図エマヌエル・ゴディーニウ・デ・エレディアの日本図についても、テイシェイラ・ダ・モタ氏の精細な説明が地図集第四巻に載っている。このマラッカ生れの製図家の手になる日本図を含む各種の地図はわが国の地図史の解明に不可欠の極めて重要なものである。ゴディーニウ・デ・エレディアは一五八〇年ドラードの没後そのあとを継いで東インドの中心地ゴアで地図制作に従事したが、蘭船の進出に妨げられながら、終生、南方大陸の発見を夢みて、その実現に努力した特異な地図制作者で、オーストラリア大陸発見の功は蘭人に奪われたものの、製図家としての業績は高く評価されるべきで、進歩した日本図を描いた彼の世界図、極東図は南蛮屏風世界図及び朱印船海図を検討する場合にその原拠について有力な手掛りとなるものであるから、テイシェイラ・ダ・モタ氏が従来比較的看過されていたこの特異な製図家についてその経歴及び

業績を精細に紹介し、その真価を伝えたことは、シュッテ師のモレイラ研究と並んで、この時期の日本図研究に貢献した人として高く評価されるべきものと思う。また、一昨年リスボンでお目にかかった折、ポルトガルの古地図研究所(Centro de Estudos de Cartografia Antiga)の別輯第百五巻(Serie Separata CV)として海外科学院より一九七七年に刊行された

Cartas Portugueses Antigas na Coleção de Grootte Schuur と題する研究報告を戴いたが、これは題名の示す如く南アフリカ南端のケープタウンにおいて発見された地図帳を紹介したもので、二代ジョアン・テイシェイラ・アルベルナッスの海南島から日本までを描いた航海図が含まれている。本図はポルトガル地図集第五巻の日本の略図の最後に挙げられている第五〇図初代ジョアン・テイシェイラ・アルベルナッスの日本図のあとに出来たもので、エゾの形に特徴があり、この航海図の扱っている地域が朱印船航海図と共通する部分が多いところから、テイシェイラ・ダ・モタ氏は本図に興味をもち、来日の際両者を比較検討することを楽しみにしておられたようである。コルテザン氏は日本図五〇図の総括的解説をおわるにあたって、世界図の残された二つの領域のうち北米東北端のテラ・ノバについては蒐集したすべての図の地名一覧表を作成することが出来たが、日本図に関しては地名一覧表を作る時間的余裕が無かったと書いているが、

テイシェイラ・ダ・モタ氏は出来ればその作成を実現したいと考えておられたことであろう。

私が初めてテイシェイラ・ダ・モタ氏の名に接したのは、一九六三年末から翌年三月にかけてリスボンに滞在した時のことである。その時既に五巻全部の刊行を了っていたポルトガル地図集にコルテザン氏の共著者として Capitão tenente, Aveino Teixeira da Mota とあるのを見て地図集の執筆者にしては珍しい肩書の持主だなど感じたのであるが、考えてみれば嘗て海洋国家として世界に雄飛したポルトガルの地図集であつてみれば海軍将校の肩書を持つ人が編集し解説に当るのは寧ろ当然のことなかも知れない。氏の最初の業績は海軍士官候補生時代に纏めた研究調査報告で、その内容はマジラン船隊世界周航の際の重要課題であつた経度の問題に関するもので、その中で、既に失われてしまつたと考えられていた船隊の航海指針(vegimento nautico)を明らかにしたことである。この調査報告は碩学ガトー・コーティニウ提督の称讃するところとなり、その後水路誌関係の仕事に携つたことは氏の手がけた幾つかの研究題目からも察することが出来る。現役中は大部分海軍艦艇に乗り組んで、主としてアフリカ沿岸の旧ポルトガル植民地に赴き、その土地の歴史、文化の調査に従事し、或はピサウ博物館の建設に積極的な役割を果すなど植民地と現住民の理解に献身的努力を払っ

たことは別掲の業績の示す通りであるが、このような現地における実地の体験の積み重ねが、後に古地図学者として国際的に名声を博する土台を作り上げたもので、氏の研究活動の特色はあくまでも多年に亘る field work にあるといつてよいであろう。ヴェルデ岬からブラジルへの航海に始まり、アフリカ西岸のポルトガル領ギネア及びアンゴラ、更に東岸のモザンビークへの航海は、とりも直さずその昔ポルトガルが海外発展に辿った道そのものであり、その成果たるポルトガル製航海図の研究は、このような実地の体験があつてこそ可能であつたともいえるのではあるまいか。

一九五八年に退役してリスボンの海洋博物館長に就任してからは、種々の重要な学会に関係する一方、欧州各地を歴訪して専ら埋もれたポルトガル製古地図の発見に精力的に努力し、その成果は多数の論文、特にコルテザン氏の片腕として実現に努力したポルトガル地図集の刊行に充分に生かされている。氏の手がけた多くの地図資料の中には、前述の如く、ルイス・テイシエイラ系の日本図、ゴディニウ・デ・エレディアの日本関係の地図が含まれているが、これらは何れも十六世紀末から十七世紀初頭にかけてポルトガルの製図家によつて作られた新しい型の日本図で、それまで不正確であつた日本本土の東北部が著しく現実に近いものになつている。しかし本土北端の緯度に関しては如何にして改正が行われたか

について問題があり、南蛮屏風世界図、朱印船航海図等日本側の資料と比較検討が行われてきたが、多年ポルトガルの海図を手がけてきたテイシエイラ・ダ・モタ氏は、これらのわが国に現存する地図資料に特別の興味をもち、実物の調査に乗り出すことになつたのであらう。何れにせよコルテザン氏が亡くなられた後のポルトガル古地図学界においては、わが国を中心とするアジア北東部の古地図学的調査は主としてテイシエイラ・ダ・モタ氏に委ねられることになつたわけで、氏はこれまでにアフリカ、アメリカ両大陸に関するポルトガル製古地図資料の調査をおわり、最後の段階として、当時の世界図でまだ未知の領域として残されていた日本、エゾ、朝鮮半島、タタールに関する研究を進めようとしていたのである。氏はこれまで内外の学者によつてイマゴ・ムンディ誌に寄せられた幾つかの論文を通じてわが国の古地図研究の水準の高さを承知していたので、氏とこの問題について語り合った際に、わが国でこれまでに発表された古地図関係の著書論文を、英、独、仏、西などヨーロッパの研究者が容易に理解し得る言葉で出来るだけ多く精細に伝えて欲しいとのことであつた。それにつけても今回の来日決定は、氏が手がけてきた日本図に関連する日本側の現存資料をその目で確かめることの出来るまたとない機会であつただけに、実現を見ずしておわつたことが惜しまれてならない。

一昨年秋、リスボンへ赴く途次ロンドンを訪れ、ボクサー教授及び大英博物館地図部主任ヘレン・ウォーリス博士にお目にかかったが、両氏ともに口をそろえてテイシェイラ・ダ・モタ氏の人柄と学殖を称讃し、ポルトガルから地図学者を招くとすればテイシェイラ・ダ・モタ氏こそ最適任者であろうとのことであった。従つて我々としても同氏の来日に多大の期待を寄せていたのであるが、この一年間氏は展覧会の準備委員として東奔西走せられ多忙な日々が続いていたことは氏の書簡からも察せられ、恐らくそのことが健康を損う原因の一つになったものと考えられる。いずれにせよ同氏の逝去は、歴史的にわが国と関係の深いポルトガルの一大損失であるのみならず、期待された来日を目前にしていることだけにわが国にとつても誠に惜しみても余りあることといわなければならぬ。

〔付記〕

去る二月末、テイシェイラ・ダ・モタ氏より書簡が届き、クルス・イ・シルバー博士と一緒に来日することになったのでよろしくとのことだったので、直にそのことを東洋文庫の榎博士にお知らせしたのであるが、思いがけず、僅かその二週間後に病氣のため出発直前に急逝されたとの知らせが届いた。昨年十月イタリヤから帰国後健康が勝れないとの便りが

あったので病状が急に悪化したのであろう。突然の訃報に驚いた私は再び榎博士にお目にかかり、その由をお伝えしたところ、追悼文を載せてはどうかとのことだったので、ポルトガル海外科学院及び海洋学会のプレジデントたるクルス・イ・シルバー博士にその旨を書き送ったのに対して、海洋学会の事務総長ビリタード・タデウ氏から榎博士の御好意に対する鄭重なる謝辞を添えて故人の履歴書及び業績表が送られてきた。以下に掲げる著作目録は、その業績表に基づくものである。なお、テイシェイラ・ダ・モタ氏が担当することになっていた用件は、すべてクルス・イ・シルバー博士により引継がれるとの知らせが届いた。

テイシェイラ・ダ・モタ氏著作目録

A) LIVROS

- 1 *Inquérito etnográfico organizado pelo Governo da Colónia no ano de 1946* [Guiné], Bissau, 1947, 166pp.
- 2 (De colaboração), *A habitação indígena na Guiné Portuguesa*, Bissau, 1948, pp. 9-136.
- 3 *Topónimos de origem portuguesa na costa ocidental de África desde o Cabo Bojador ao Cabo de Santa*

- Catrina, Bissau, 1950, 410pp.
- 4 (De colaboração com Th. Monod e R. Mauny), *Description de la côte occidentale d'Afrique (Sénégal au Cap de Monte, Archipels) par Valentin Ferranides (1506-1510)*, Bissau, 1951, 223pp.
- 5 *Guiné Portuguesa*, Lisboa, 1954, 2 vols, 394+238pp.
- 6 (De colaboração com A. Cortesão), *Portugaliae Monumenta Cartographica*, Lisboa, 1960, 6 vols.
- 7 (De colaboração com A. Cortesão), *Tabularum Geographiarum Lusitanorum Specimen*, Olisippone, 1960.
- 8 *A cartografia antiga da África Central e a travessia entre Angola e Moçambique (1500-1860)*, Lourenço Marques 1964, 225pp., Prémio "João de Barros" da Agência Geral do Ultramar, 1964.
- 9 *Mar, Além-Mar*, Estudos e ensaios de História e Geografia (colectânea de esparsos e inéditos), I (1944-1948), Agrupamento de Estudos de Cartografia Antiga, n.º 11, Junta de Investigações do Ultramar, Lisboa, 1972, xxiv+407pp.
- 10 *As viagens do Bispo D. Frei Vitoriano Portuense a Guiné e a cristianização dos reis de Bissau*, Centro de Estudos de Cartografia Antiga, 14, Junta de Investigações Científicas do Ultramar, Lisboa, 1974, x+188pp.
- 11 *Descrição da Serra Leoa e dos Rios de Guiné do Cabo Verde (1625)* *Description de la Serra Leoa et des Rios de Guiné du Cabo Verde (1625)* por/par André Donelha. Edição do texto português, introdução, notas e apêndices por Avelino Teixeira da Mota; notas por P.H. Hair; tradução francesa por Léon Bourdon. Centro de Estudos de Cartografia Antiga, 18, Junta de Investigações Científicas do Ultramar, Lisboa, 1977, xiv+471pp.
- 11 a *Descrição da Serra Leoa e dos Rios de Guiné do Cabo Verde 1625* *An Account of Sierra Leone and the Rivers of Guinea of Cape Verde (1625)* por/by André Donelha, Edição do texto português, introdução, notas e apêndices por Avelino Teixeira da Mota; notas e tradução inglesa por P.E.H. Hair. Centro de Estudos de Cartografia Antiga, 19, Junta de Investigações Científicas Ultramar, Lisboa, 1977, xiv+472pp.

B) ARTIGOS; OPUSCULOS E COMUNICACÕES

- 1 *A Marinha e as colónias*, in "Semana Militar das Colónias em 1944", pp. 47-58, ed. da "Revista Militar", 1944. Prémio da Semana Militar das Colónias, 1944.
- 2 *A arte de Navegar de portuguesas e espanhóis na época dos Descobrimentos* in "Anais do Club Militar Naval", t. LXXIV, n.ºs. 7-8, Julho-Agosto de 1944, pp. 367-88.
- 3 *Um século na História da Navegação*, in "Anais do Clube Militar Naval", t. LXXV, n.ºs. 3-4, Março-Abril 1945 (numero comemorativo do I centenário da Escola Naval), pp. 123-52.
- 4 *Portugal na História da Geografia*, in "Anais do Clube Militar Naval", t. LXXV, n.ºs. 5-6, Maio-Junho 1945, pp. 279-93; n.ºs. 7-8, Julho-Agosto 1945, pp. 415-38; n.ºs. 9-10, Setembro-Outubro 1945, pp. 509-27.
- 5 (De colaboração com J. Soeiro de Brito), *Amarrações dos contra-torpedeiros em Ponta Delgada*, in "Anais do Clube Militar Naval", t. LXXV, n.ºs. 9-10, Setembro-Outubro 1945, pp. 471-82.
- 6 *Como foi descoberta a Guiné* (conferência), in "Anais do Clube Militar Naval", t. LXXVI, n.ºs. 3-4, Março-Abril 1946, pp. 173-194.
- 7 *A descoberta da Guiné*, in "Boletim Cultural da Guiné Portuguesa", Bissau, I, 1, Janeiro 1946, pp. 13-68; 2, Abril 1946, pp. 273-326; 3, Julho 1946, pp. 457-509.
- 8 *A Viagem de Pedro Álvares Cabral* (conferência), in "Moicidade Portuguesa", Lisboa, VII, 1947, 2, pp. 68-84.
- 9 *Cronologia e âmbito das viagens portuguesas de descoberta na África ocidental de 1445 a 1462*, in "Boletim Cultural da Guiné Portuguesa", Bissau, II, 6, Abril 1947, pp. 315-41.
- 10 [Evolução histórica do conhecimento do Arquipélago dos Bijagós e sua população], in Augusto Santos Lima, "Organização Económica e Social dos Bijagós", Bissau, 1947, pp. 5-45 e 145-9.
- 11 *O problema da descoberta da Guiné Portuguesa*, in "Congresso Comemorativo do V Centenário do

- Descobrimento da Guiné”, Lisboa, Volume I, 1946, pp. 333-8.
- 12 A 2a. Conferência Internacional dos Africanistas Ocidentais, in “Boletim Cultural. Guiné Portuguesa”, Bissau, III, 9, Janeiro 1948, pp. 13-74.
- 13 O noroeste africano na cartografia portuguesa antiga, in “Bol. Cult. Guiné Portuguesa”, Bissau, III, 9, Janeiro 1948, pp. 173-99.
- 14 [Origens dos Fulas do Gabão], in J. Mendes Moreira, “Fulas do Gabão”, Bissau, 1948, pp. 5-57.
- 15 Um relatório de Sousa Lage, in “Bol. Cult. Guiné Portuguesa”, III, 10, Abril 1948, pp. 329-52.
- 16 (De colaboração com Caetano de Sá, Francisco Mendes e Fausto Duarte), *Efemerides da Guiné Portuguesa*, in “Bol. Cult. Guiné Portuguesa”, Bissau, n.º especial, Outubro 1947, pp. 7-105.
- 17 *Dom João de Castro, navegador e hidrografo*, in “Anais do Clube Militar Naval”, Lisboa, t. LXXVIII, n.ºs. 5-6, Maio-Junho 1948, pp. 401-61.
- 18 *Notas sobre a historiografia da expansão portuguesa e as modernas correntes da investigação africana*, in “Anais do Clube Militar Naval”, Lisboa, t. LXXIX, n.ºs. 7-9, Julho-Setembro 1949, pp. 229-94.
- 19 *Nota sobre os vestígios portugueses na cartografia francesa do noroeste africano nos séculos XVII e XVIII*, in “Bol. Cult. Guiné Portuguesa”, Bissau, IV, 14, Abril 1949, pp. 273-87.
- 20 *Influência Portuguesa na toponímia costeira da África Ocidental*, in “2a. Conferência Internacional dos Africanistas Ocidentais—Bissau 1947”, Lisboa, I, 1950, pp. 319-29.
- 21 *Diogo Gomes, primeiro grande explorador do Gâmbia* (1456), in “2a. Conferência Internacional dos Africanistas Ocidentais—Bissau, 1947”, Lisboa, I, 1950, pp. 309-17.
- 22 *A agricultura de Brames e Balantes vista através da fotografia aérea*, in “Bol. Cult. Guiné Portuguesa”, Bissau, V, 18, Abril 1950, pp. 131-71. Tradução francesa promovida pelo Institut Géographique National, Paris, 1952 (*L'agriculture des Brames et Balantes vue à travers la photographie aérienne*).
- 23 *Fernão Vaz, explorador ignorado do Golfo da*

- Guiné, in "Bol. Cult. Guiné Portuguesa", Bissau, V, 19, Julho 1950, pp. 379-84.
- 24 *Nota sobre o povoamento e a agricultura indígena na Guiné Portuguesa*, in "Bol. Cult. Guiné Portuguesa", Bissau, VI, 23, Julho 1951, pp. 657-80.
- 25 *Contactos culturais luso-africanos na "Guiné de Cabo Verde"*, in "Bol. Sociedade de Geografia de Lisboa", 69a. série, n.º 11-12, Novembro-Dezembro 1951, pp. 659-667.
- 26 *Origem da casa indígena rectangular no litoral da "Guiné de Cabo Verde"*, in "Bol. Cult. Guiné Portuguesa", Bissau, VII, 25, Janeiro 1952, pp. 157-60; e in "Proceedings of the Third International West African Conference, 1949", Lagos, 1956, pp. 72-74.
- 27 *Novos elementos sobre a acção dos portugueses e franceses em Benim na primeira metade do século XVI*, in "Bol. Cultural Guiné Portuguesa", Bissau, VII, 27, Julho 1952, pp. 525-31; e in "Proceedings of the Third International West African Conference, 1949", Lagos, 1956, pp. 245-9.
- 28 *Importância dos antigos documentos geográficos portugueses para o estudo etnológico das populações oeste-africanas*, in "2a. Conferência Interna-cional dos Africanistas Ocidentais—Bissau 1947", Lisboa, IV, 1952, pp. 393-401.
- 29 *Nota sobre a história dos Fulas—Coti Tenguellá e a chegada dos primeiros Fulas ao Futa—Jalom*, in "2a. Conferência Internacional dos Africanistas Ocidentais—Bissau 1947", Lisboa, V, 1952, pp. 53-69.
- 30 *O "Regimento da altura de leste-oeste" de Rui Faleiro* (nota prévia), in "Bol. Geral do Ultramar", Lisboa, n.º 331, Janeiro 1953, pp. 163-71.
- 31 *O Centro de Estudos da Guiné Portuguesa*, in "Garcia de Orta", Lisboa, I, 1. 1954, pp. 107-37; e in "Bol. Cult. Guiné Portuguesa", Bissau, VIII, 32, Outubro 1953, pp. 609-49.
- 32 *Barтолomeu Dias, descobridor do Cabo de Boa Esperança*, edição do N.R.P. "Barтолomeu Dias", Lisboa, 1955, 29 pp. Edição inglesa na mesma data, *Barтолomeu Dias, discoverer of Cape of Good Hope*, reeditada pelos TAP, s.d.
- 33 *O Centro de Estudos da Guiné Portuguesa—História e Perspectivas*, in "Bol. Cult. Guiné Portu-

- guesa”, Bissau, X, 40, Outubro 1955, pp. 641-60; e in “Diário da Viagem Presidencial às Províncias Ultramarinas da Guiné e de Cabo Verde em 1955”, coord. de Rodrigues Matias, I, 1956, pp. 87-106.
- 34 *O II Colóquio Internacional sobre a história do navio e da economia marítima*, in “Anais do Clube Militar Naval”, Lisboa, t. LXXXVII, n.ºs. 3-6. Abril-Junho 1957, pp. 239-54.
- 35 *A arte de navegar no Mediterrâneo nos séculos XIII-XVII e a criação da navegação astronómica no Atlântico e Índico*, in “Anais do Clube Militar Naval”, Lisboa, t. LXXXVII, n.ºs. 7-8, Julho-Setembro 1957, pp. 453-74. Texto francês, *L'Art de naviguer en Méditerranée du XIV au XVII^e siècle et la création de la navigation astronomique dans les océans*, in “Le Navire et l'Economie Maritime du Moyen-Âge au XVIII^e siècle principalement en Méditerranée”, Paris 1958, pp. 127-54.
- 36 *A viagem de Bartolomeu Dias e as ideias geopolíticas de D. João II*, in “Bol. Sociedade de Geografia de Lisboa”, Série 76, n.ºs. 9-12, Outubro-Dezembro 1958, pp. 297-322.
- 37 *O centenario da morte de Honório Barreto*, in “Boletim Cultural da Guiné Portuguesa”, XIII, n.º 50, Abril-Junho 1958, pp. 195-201.
- 38 *Notas sobre a história dos portugueses na África Negra*, in “Boletim da Sociedade de Geografia de Lisboa”, série 77, n.º 1-3, Janeiro-Março 1959, pp. 27-55.
- 39 *Gago Coutinho, historiador da Náutica dos Descobrimientos*, in “Anais do Clube Militar Naval”, Lisboa, t. LXXXIX, n.º especial, 1959, pp. 107-12.
- 40 *Um luso-africano: Honório Pereira Barreto*, in “Boletim da Sociedade de Geografia de Lisboa”, série 77, n.ºs. 9-12, Outubro-Dezembro 1959, pp. 389-416; 2a. edição in Joaquim Duarte Silva e A. Teixeira da Mota, *Honório Barreto, Portugêis da Guiné*, Col. “Figuras e feitos de além-mar”, n.º 18, Lisboa, Agência Geral do Ultramar, 1973, pp. 49-115.
- 41 *O nascimento da navegação astronómica no Atlântico, instrumento da descoberta dos oceanos*, in *Infante D. Henrique*, Lisboa, 1960, pp. 81-88 (edição inglesa, *Dom Henrique the Navigator*, pp. 85-92).

- 42 *A Escola de Sagres*, in "Anais do Clube Militar Naval", n.º especial, 1960 pp. 39-54.
- 43 *Cartografia portuguesa dos descobrimentos*, in "Anais do Clube Militar Naval", n.º especial, 1960, pp. 103-11.
- 44 *Descoberta de bronzes antigos na Guiné Portuguesa*, in "Bol. Cult. Guiné Portuguesa", Bissau, XV, n.º 59, Outubro 1960, pp. 625-32.
- 45 *Le Portugal et l'histoire de l'Afrique*, in "Académie Royale des Sciences d'Outre-Mer, Bull. des Séances", Bruxelles, VII, 6, 1961, pp. 878-89.
- 46 *Bartholomeu Dias e o valor do grau terrestre*, in "Congresso Internacional de História dos Descobrimentos-Actas", Vol. II, Lisboa, 1961, pp. 294-310.
- 47 *Jaime Cortesão, historiador da expansão portuguesa*, in "Ocidente" Lisboa, vol. LXI, 1961 pp. 43-61.
- 48 *A evolução da ciência durante os séculos XV-XVII na cartografia portuguesa da época*, in "Memórias da Academia das Ciências de Lisboa-Classe de Letras", VII, 1961, pp. 247-66; separata III do A.E. Cartografia Antiga.
- 49 *Cinco séculos de cartografia das ilhas de Cabo Verde*, in "Garcia de Orta", Lisboa, IX, n.º 1, Janeiro 1961, pp. 11-16; separata I do A.E. Cartografia Antiga.
- 50 *Prince Henry of Portugal and the progress of nautical cartography*, in "International Hydrographic Review", Monaco, XXXIX, n.º 1, January 1962, pp. 29-37. Também edição em francês (*Le Prince Henri du Portugal et les Progrès de la Cartographie Marine*, in "Revue Hydrographique Internationale", XXXIX, n.º 1, Janvier 1962, pp. 29-38).
- 51 *Elogio histórico do Almirante Gago Coutinho*, in "Bol. da Academia das Ciências de Lisboa", XXIV, Jan-Fev, 1962, pp. 70-101.
- 52 *Novos elementos sobre a cartografia de Portugal continental no século XVII*, in "Bol. da Academia das Ciências de Lisboa", XXIV, Março-Abril 1962, pp. 165-83.
- 53 *D. Luis da Cunha e a carta da África meridional de Bourguignon d'Arville (1725)*, in "Revista Portuguesa de História", Coimbra, X, 1962, pp. 399-410; separ. IV do A.E. Cartografia Antiga.
- 54 *Méthodes de navigation et cartographie nautique*

- dans l'Océan Indien avant le XVII^e siècle*, in "Studia", n.º 11, Janeiro 1963, pp. 49-90; separ. V do A.E. Cartografia Antiga.
- 55 *Nouveaux éléments sur le pilote Lourenço Marques*, in "Studia", n.º 11, Janeiro 1963, pp. 291-300. Edição em português (Novos elementos sobre o piloto Lourenço Marques) in "Bol. da Sociedade de Estudos de Moçambique", Lourenço Marques, XXXI, n.º 133, Out-Dez. 1962, pp. 59-69.
- 56 *Os portugueses e a cartografia antiga da África Central (1550-1800)*, in "Bol. da Academia das Ciências de Lisboa", XXV, 1963, pp. 13-27.
- 57 *Um príncipe de Bissau baptizado em Lisboa no ano de 1694*, in "Boletim da Associação Comercial, Industrial e Agrícola da Guiné", Bissau, VII, n.ºs. 73-75, Jan-Mar. 1964, pp. 38-44; n.º 76, Abt-Dez 1964, pp. 25-28; VIII, n.º 77, Jan-Dez. 1965, pp. 26-31.
- 58 *Um plano do porto de Moçambique pelo explorador Laserta e Almeida (1797)*, in "Geographica", Lisboa I, 1, Janeiro 1965, pp. 80-89.
- 59 *Portuguese navigations in the North Atlantic in the fifteenth and sixteenth centuries*, St. John's, Newfoundland, 1965, 24pp. in "Bol. da Pesca", XVI, 88, Set. 1965, pp. 11-26, com edição em português a pp. 27-42 (*Navegações dos Portugueses no Atlântico Norte nos séculos XV e XVII*).
- 60 *Bronzes antigos da Guiné*, in "Actas do Congresso Internacional de Etnografia" (Santos Tirso, 1963), Lisboa, 1965, Vol. IV, pp. 149-54.
- 61 *A "Sociedade Real Marítima" e os primeiros estudos de mares em Portugal*, in "Anais do Instituto Hidrográfico", Lisboa, n.º 2, 1965, pp. 7-58.
- 62 *Influence de la cartographie portugaise sur la cartographie européenne a l'époque des découvertes*, in "Les Aspects internationaux de la découverte océanique" (Actes du Cinquième Colloque International d'Historie Maritime), Paris 1966, pp. 223-248. (De colaboração com A. Carreira), *Milho zaburro and milho magaroca in Guinea and the islands of Cabo Verde*, in "Africa", London, XXXVI, 1, Jan. 1966, pp. 73-84.
- 64 *O cosmógrafo Bartolomeu Velho em Espanha*, in "Revista da Faculdade de Ciências", Coimbra, vol. XXXIX, 1966, pp. 287-309; separata XIII do A.E.

Cartografia Antiga.

- 65 *Der portugiesische Seehandel in Westafrika in 15. und 16. Jahrhundert und seine Bedeutung für die Entwicklung des Überregionalen Handelsverkehrs*, Kölner Vorträge zur Sozial- und Wirtschaftsgeschichte, Heft 5, Köln 1969, 20pp.
- 66 *Christopher Columbus and the Portuguese*, in "The Journal of the American Portuguese Cultural Society", New York, II, n.ºs. 1-3, 1968, pp.1-22; versão espanhola, *Colón y los Portugueses*; Cuadernos Colombinos, n.º 5, Valladolid, 1975, pp. 31-55.
- 67 *Dois projectos de travessia de Angola para Moçambique com base na cartografia seiscentista*, comun. apresentada ao 66.º Congresso anual da Associação Sul-Africana para o Avanço das Ciências, Lourenço Marques, Julho 1968. (publicação retardada).
- 68 *Novos documentos sobre uma expedição de Gongoal Ceelho ao Brasil, entre 1503 e 1505*, in "Revista de Ciências do Homem", Lourenço Marques, I, n.º 1, ser. A, Jun. 1968, pp. 137-146; separ. XXV do A.E. Cartografia Antiga. Também in "Revista do Instituto Histórico e Geográfico Brasileiro", Rio de Janeiro, 287, Abril-Junho 1970, pp. 483-491.
- 69 *Ilha de Santiago e Angra de Bezequiche, escalas da Carreira da Índia*, in "Do Tempo e da História", Lisboa, II, 1968, pp. 141-149.
- 70 *Prefácio de Diário da Navegação de Pero Lopes de Sousa (1530-1532)*, Lisboa, Agência Geral do Ultramar, 1968, pp. 7-23.
- 71 *Evolução dos roteiros portugueses durante o século XVI*, comunicação apres. à I Reunião Internacional de História da Náutica, Coimbra 1968, in "Revista da Universidade de Coimbra", XXIV, 1971, pp. 201-28; separ. XXXIII do A.E. Cartografia Antiga.
- 72 *A primeira visita de um governador das Ilhas de Cabo Verde à Guiné (António Velho Tinoco, c. 1575)*, in "Ultramar", Lisboa, VIII, n.º 4 (n.º 32), 1968, pp. 57-69; separ. XXIII do A.E. Cartografia Antiga.
- 73 *Gago Coutinho marinheiro e geógrafo e a exploração de Cabora-Bassa*, in "Boletim da Sociedade de Geografia de Lisboa", 87a. ser., Jan-Mar. e Abr-Jun. 1969, pp. 17-33.

- 74 *Os regimentos do cosmógrafo-mor de 1559 e 1592 e as origens do ensino náutico em Portugal*, in "Memórias da Academia das Ciências de Lisboa-Classe de Ciências", XIII, 1969, pp. 227-291; separ. II do A.E. Cartografia Antiga.
- 75 *A viagem do navio "Santiago" à Serra Leoa e Rio de S. Domingos em 1526 (Livro de armazão)*, in "Boletim Cultural da Guiné Portuguesa", Bissau, XXIV, n.º 95, Jul. 1969, pp. 529-579; separ. LIII do A.E. Cartografia Antiga.
- 76 *Un document nouveau pour l'histoire des Peuls au Sénégal pendant les XV^{ème} et XVI^{ème} siècles*, in "Boletim Cultural da Guiné Portuguesa", Bissau, XXIV, n.º 96, Out. 1969, pp. 781-862; separ. LVI do A.E. Cartografia Antiga.
- 77 *As rotas martinhas portuguesas no Atlântico de meados do século XV ao penúltimo quartel do século XVI*, in "Do Tempo e da História", Lisboa, III, 1970, pp. 13-33.
- 78 *A malograda viagem de Diogo Carreiro a Tom-buctu em 1565*, in "Bol. Cultural da Guiné Portuguesa", XXV, 97, Janeiro 1970, pp. 3-23; e in "Academia Portuguesa de História-Anais", Lisboa, II ser., 319: 1970, pp. 151-79; separ. LVII, do A.E. Cartografia Antiga.
- 79 *Fulas e Biafadas no Rio Grande no século XV-Achegas para a etnohistória da África Oriental*, in "Memórias da Academia de Ciências de Lisboa-Classe do Ciências", XIV, 1970, pp. 259-77, separ. IX do A.E. Cartografia Antiga.
- 80 *Dois escritores quinhenistas de Cabo Verde-André Alvares de Almada e André Dornelas*, in "Liga dos Amigos de Cabo Verde-Boletim Cultural". suplement., Luanda, Novembro 1970, pp. 10-44 separ. LXI do A.E. Cartografia Antiga.
- 81 *D. João Bemoin e a expedição portuguesa ao Senegal em 1489*, in "Bol. Cultural da Guiné Portuguesa", Bissau, XXVI, 101, Janeiro 1971, pp. 63-111, separ. LXIII do A.E. Cartografia Antiga.
- 82 *A viagem de António de Saldanha em 1503 e a rota de Vasco da Gama no Atlântico Sul*, in "Grupo de Estudos de História Martime-Memórias", Lisboa, 1971, pp. 9-63; separ. LXIV do A.E. Cartografia Antiga.

- 83 Duarte Coelho, *Capitão-mor de armadas no Atlântico (1531-1535)*, comunicação ao "II Colóquio Luso-Brasileiro de História do Brasil", Lourenço Marques, Julho 1970, in "Revista do Ciências do Homem", Lourenço Marques, vol. IV, ser. A, 1971, pp. 301-352; separ. LXVIII do A.E. Cartografia Antiga.
- 84 A *África Ocidental em "Os Lusíadas"* in "Garcia de Orta", n.º especial, 1972, pp. 381-392; separ. LXXI do A.E. Cartografia Antiga.
- 85 *Atlantic winds and ocean currents in the Portuguese nautical documents of the 16th century*, in "The Royal Society of Edinburgh-Proceedings" Section B (Biology), vol. 73, (Proceedings of the Second International Congress on the History of Oceanography-2), 1972, pp. 59-67.
- 86 *Acerca da recente devolução a Portugal, pelo Brasil, de manuscritos da Sociedade Real Marítima, Militar e Geográfica (1798-1807)*, in "Memórias da Academia das Ciências de Lisboa-Classe de Ciências", XVI, 1972, pp. 277-310; separ. LXXIV do A.E. Cartografia Antiga.
- 87 *The Mande trade in Costa da Mina according to Portuguese documents until the mid-sixteenth century*, comunicação apresentada à "Conference on Mande Studies", 29 Junho-3 Julho 1972, Londres (publicação retardada).
- 88 *Reflexos do Tratado de Tordesilhas na cartografia náutica do século XVI*, in "El Tratado de Tordesilhas y su proyección", Primer Coloquio Luso-Español de História de Ultramar, Segundas Jornadas Americanistas de la Universidad de Valladolid, Valladolid, I, 1973, pp. 137-148; in "Revista da Universidade de Coimbra", XXIII; separ. LXXX do A.E. Cartografia Antiga.
- 89 *O Comandante Abel Fontoura da Costa, historiador da marinharia dos descobrimentos*, in "Centro de Estudos de Marinha-Memórias", Lisboa, 1973, pp. 255-269; separata LXXXIV do A.E. Cartografia Antiga.
- 90 *A contribuição dos irmãos Rui e Francisco Faleiro no campo da náutica em Espanha*, in "A viagem de Fernão de Magalhães e a questão das Molucas", Actas do II Colóquio Luso-Espanhol de História

- Ultramarina, edição organizada por A. Teixeira da Mota, Lisboa, 1975, pp. 315-341.
- 91 *Instruções náuticas para os pilotos da Carreira da Índia nos começos do século XVII*, in "Coleção de estudos em honra do Prof. Damião Peres", Lisboa, Academia Portuguesa da História, 1974, pp. 351-369; separata XCIII do C.E. Cartografia Antiga.
- 92 *O obra da Professora Doutora Virgínia Rau no campo da história marítima* in "Centro de Estudos de Marinha-Memórias", Lisboa, t. IV, 1974, pp. 173-181.
- 93 *Nótuia sobre as técnicas marítimas chinesas medievais em comparação com as europeias*, in Jacques Gernet, "O Mundo Chinês—Uma civilização e uma história", I, Lisboa, 1974, pp. 310-311.
- 94 *Cartografia Antiga de Sofala*, in "Monumenta", Lourenço Marques, n.º 9, ano IX, 1973, pp. 5-18; separata LXXXVII de C.E. Cartografia Antiga.
- 95 *A actividade marítima dos Biagos nos séculos XVI e XVII*, in "In Memoriam António Jorge Dias", Lisboa, III, 1974, pp. 243-277.
- 96 *O Comandante Humberto Leitão, historiador da náutica e do ultramar*, in "Anais do Club Militar Naval", Lisboa, t. CIV, 4-6, Abril-Junho 1974, pp. 257-263.
- 97 *Um manuscrito náutico seiscentista reconstruído*, in "Memórias da Academia das Ciências de Lisboa—Classe de Ciências", XVIII, 1976, pp. 291-371; separ. XCV do C.E. Cartografia Antiga.
- 98 (De colaboração com Francisco Leite de Faria), *Notidades náuticas e ultramarinas numa informação dada em Veneza em 1517*, in "Memórias da Academia das Ciências de Lisboa—Classe de Ciências", XX, 1977, pp. 7-75; separ. XCIX do C.E. Cartografia Antiga.
- 99 *Algumas actividades de organismos de investigação sediados em Portugal, no domínio das ciências humanas e sociais de âmbito africano*, comunicação apresentada na "Reunião sobre programação da educação e investigação em ciências humanas na África lusófona em descolonização", Lisboa, Janeiro de 1975; publ. in *Colóquio sobre Educação e Ciências Humanas na África de Língua Portuguesa*, Lisboa, fundação Calouste Gulbenkian, 1979, pp.

- 291-301.
- 100 *Gli avori africani nella documentazione portoghese dei secoli XV-XVII in "África"*, Rivista dell'Istituto Italo-Africano, Roma, XXX, 4, Dic. 1975, pp. 580-589.
- 101 (De colaboração com Raymond Mauny), *Le voyage du navire "Santiago à la Sierra Leone et à la Rivière de S. Domingos (1526)*, in "Bulletin de l'Institut Fondamental d'Afrique Noire", Dakar, t. 37, ser. B, n.º 3, 1975, pp. 589-603.
- 102 (De colaboração com Raymond Mauny), *Le voyage du navire "S. Miguel" au Benin (1522)*, in Bulletin de l'Institut Fondamental d'Afrique Noire", Dakar, t. 40, ser. B, n.º 7, 1978, pp. 66-86.
- 103 *The nautical aspects of astronomical theories and observations in Europe down to 1675*, comunicação apresentada ao Simpósio de História da Astronomia, Greenwich (Julho de 1975), in "Views in Astronomy", 20, 1976, pp. 29-37.
- 104 *Some notes on the organization of hydrographical services in Portugal until the beginning of the 19th century*, comunicação apresentada à VI Conferência Internacional de História da Cartografia, Greenwich, Setembro de 1975, in "Imago Mundi", Kent, 28 (2nd ser, vol. 2), 1976, pp. 51-60.
- 105 *Some aspects of Portuguese Colonisation and Sea Trade in West Africa in the 15th and 16th centuries* (7th Hans Wolf Memorial Lecture), African Studies Program, Indiana University, Bloomington, 1978. Versão portuguesa, *Alguns aspectos da colonização e do comércio marítimo dos portugueses na África Ocidental nos séculos XV e XVI*, in "Anais do Clube Militar Naval" Lisboa, vol. CVI, t. 10-12, Out-Dez. 1976, pp. 677-710; separata XCVIII do Centro de Estudos de Cartografia Antiga.
- 106 A "Instruction Hydrographique de la Côte du Brésil" de Duprê Eberard, 1711, comunicação apresentada à II Reunião Internacional de História da Náutica e da Hidrografia, Salvador, Março de 1976, in "Anais Hidrográficos", Rio de Janeiro, XXXIII (Suplemento), [1977], pp. 3-8.
- 107 *Cartas e planos do Brasil, anteriores a 1823, existentes no "Hydrographic Department" do Almirantado Britânico*, comunicação apresentada à II

- Reunião Internacional de História da Náutica e da Hidrografia, Salvador, Março do 1976, in "Anais Hidrográficos", Rio de Janeiro, XXXIII (Suplemento), [1977], pp. 9-15.
- 108 *Acerca de algumas recentes reuniões internacionais de interesse para a história marítima*, in "Centro de Estudos de Marinha-Memórias", Lisboa, VI, 1977, pp. 45-89.
- 109 *Africa in the Anonymous Portuguese "Cantino" Planisphere (1502)*, in Wolfenbutteleer Forschungser, Herausgegeben von der Herzog August Bibliothek, Band 7, "Land- und Seekarten in Mittelalter und in der frühen Neuzeit", Herausgegeben von Cornelis Koeman, München, 1980, pp. 123-136. Versão portuguesa, *A África no planisfério português anónimo "Cantino"* (1502), in "Revista da Universidade de Coimbra", XXVI, 1978, pp. 1-13; separata C II do Centro de Estudos de Cartografia Antiga.
- 110 *Cartas portuguesas antigas na Coleção de Grooten Schuur*, in "Centro de Estudos de Marinha-Memórias", Lisboa, VII, 1977, pp. 167-190; separata CV do Centro de Estudos de Cartografia Antiga.
- 111 *Entrée d'esclaves noirs à Valence (1445-1482): le remplacement de la voie saharienne par la voie atlantique*, in "Révue Française d'Histoire d'Outre-Mer", Paris, t. LXXVI, n.ºs. 242-243, 1979, pp. 195-210; e in *2000 ans d'histoire africaine-Isol, la parole et l'écrit (Mélanges en hommage à Raymond Maury)*, Paris, Société Française d'Histoire d'Outre-Mer, Bibliothèque d'Histoire d'Outre-Mer, nov, série, Études, 5-6, 1980.
- 112 *The teaching of navigation in Spain and Portugal in the time of Cabrillo, in Cabrillo and His Era*, edited by Carl F. Reupscch, Sixth Annual Cabrillo Festival Historic Seminar, vol. I, n.º 6, Cabrillo Historical Society, San Diego, 1978, pp. 9-18.
- 113 *Viagens espanholas das Candeias à Guiné no século XVI, segundo documentos dos arquivos portugueses in "III Colóquio de História Cariário-Americana (1978)", Ediciones del Exome Cabildo Insular de Gran Canaria, II, 1980, pp. 219-250.*
- 114 *Cartas antigas da Índia existentes em Portugal (Séculos XVIII, XIX e XX)*, comunicação ao I Seminário Internacional de História Indo-Portuguesa

- esa, Pangim (Novembro de, 1978), publ. in "Boletim da Biblioteca da Universidade de Coimbra", 35, 1980.; Separata CXVI do Centro de Estudos de Cartografia Antiga.
- 115 *Portugueses nas navegações das Ilhas Canárias no século XVI*, comunicação à Academia de Marinha (6 de Março de 1979) (pronto para publicação).
- 116 *Sarmento Rodrigues no Governo da Guiné*, comunicação à Academia de Marinha (23 de Outubro de 1979) (pronto para publicação).
- 117 *Les relations de l'ancien Gabou avec quelques états et peuples voisins*, comunicação à "Conferência Internacional sobre as Tradições Oraís do Gabu" (Dakar, Maio de 1980) (pronto para publicação).
- 118 *Cartas antigas do 'Estado da Índia' existentes em Paris e Londres*, comunicação ao II Seminário Internacional de História Indo-Portuguesa (Lisboa, Outubro de 1980) (pronto para publicação).
- 119 *História marítima e convergência de civilizações: o caso de Soal e do Gabu em relação com Leopold Sédar Senghor*, comunicação à Academia de Marinha (11 de Fevereiro de 1981) (pronto para publicação).
- 120 *Elements de la Méditerranée Occidentale dans l'histoire maritime portugaise*, comunicação ao "III Congresso Internacional de Estudo das Culturas do Mediterrâneo Ocidental" (Jerba, Abril de 1981) (pronto para publicação).
- 121 *The last century of Portuguese overseas cartography (1875-1975)*, comunicação à IX Conferência Internacional de História da Cartografia (Pisa-Florença-Roma, Maio e Junho de 1981) (pronto para publicação).